

第2章 上野国府に関連する既出資料の集成について

平成23年度から上野国府の調査を進めるにあたって既出資料の集成作業を行う必要が生じた。対象とした区域は、前橋市元総社町を中心とし、総社町総社、大友町、問屋町、鳥羽町、高崎市中尾町、稲荷台町、塚田町、引間町、東国分町の一部とした。具体的には、東西は関越自動車道路から産業道路まで、南北は北を元総社北小学校・元総社中学校付近、南は高前バイパスとした。主な遺跡としては、元総社明神遺跡、元総社蒼海遺跡群、寺田遺跡、元総社寺田遺跡、元総社西川・塚田中原遺跡、鳥羽遺跡、上野国分僧寺・尼寺中間地域遺跡、天神遺跡、弥勒遺跡、弥勒II遺跡、閑泉樋遺跡、元総社小校庭遺跡等をあげることができる。

I これまでの調査遺跡

(1) 尾崎研究室の国府調査

かつて上野国府に関する発掘調査が、昭和36年から昭和43年度までの9次にわたって実施された。その概要は以下のとおりである。

- | | | | |
|----|------------|-----------|-------------|
| 1次 | 昭和36年11月 | 元総社小学校校庭 | 住居跡 |
| 2次 | 昭和37年8月 | 元総社小学校校庭 | 2×5間の掘立柱建物跡 |
| 3次 | 昭和38年8月 | 元総社小学校校庭 | 2×4間の掘立柱建物跡 |
| 4次 | 昭和39年8月 | 元総社小学校校庭 | 特になし |
| 5次 | 昭和40年7～8月 | 大友町372ほか | ピット、溝 |
| 6次 | 昭和41年7～8月 | 大友町雲雀街道 | 掘立柱建物跡、大溝 |
| 7次 | 昭和41年9～10月 | 元総社小学校校舎跡 | 住居跡 |
| 8次 | 昭和42年8～12月 | 大友町周辺 | 住居跡 |
| 9次 | 昭和43年8～12月 | 昌楽寺周辺 | 住居跡 |

このときの調査では、国府そのものの解明はできなかったものの、元総社小学校校庭から発見された2×4間、2×5間の掘立柱建物跡は柱穴規模やその形状から国府の施設に関連する建物と考えられる。

(2) 閑泉樋遺跡の大溝

昭和58年2月に閑泉樋遺跡の調査でほぼ東西方向に走る大溝が調査された。この大溝の覆土上部に浅間B軽石層純層の堆積が見られ、出土した土器は9世紀後半のものが主体を占めていた。この大溝は、木津博明氏らによって、国府の北限を画するものといった解釈がなされ、国府域を確定する重要な遺構となっている。

(3) 元総社明神遺跡の調査

また、昭和57年から平成8年まで13年間に亘って元総社明神地区の区画整理に伴う発掘調査が実施された。この調査では、多くの住居跡が検出されたことから集落エリアであることが判明した。しかし、その中で南北方向の大溝が都合5カ所の調査区から南北に直線に並んだ状態で発見された。閑泉樋遺跡の大溝に比較するとやや小規模なものとなる。

(4) 牛池川改修に伴う調査

河川改修に伴う調査が昭和63年から開始された。沖積地部分の調査のため水田跡の生産遺構や植物や動物遺存体の出土が期待された。その期待に沿うように元総社明神遺跡Ⅷの調査では人形が3点発見された。その後に調査された元総社寺田遺跡でも人形5点のほか「国」、「厨」、「国厨」、「曹司」と書かれた墨書土器がみついている。

(5) 関越自動車道の調査

国分寺を東西に2分する関越自動車道路の建設に伴って発掘調査が昭和50年代から開始された。中尾遺跡、鳥

羽遺跡、国分寺中間地域遺跡など大規模集落遺跡が次々に解明された。この中で、特筆されるのは鳥羽遺跡の神社遺構、鍛冶工房遺構であろう。その他、国府や国分寺に関連する遺物も多数出土した。

(6) 元総社蒼海遺跡群の調査

元総社蒼海地区に区画整理に伴う発掘調査が平成11年から開始され現在も継続中である。現在までの調査では住居跡が中心を占めている。その中で、元総社公民館用地から3×10間の掘立柱建物跡が検出されている。また、国分尼寺の西側から「大館」、「少」と書かれた墨書土器が発見されている。

II 既出資料について

以上のように昭和36年から開始された国府調査であるが、過去には宮鍋神社の周辺を中心に方8町や方6町の区域が国府域と推定された時期があった。これについては山口県防府市の周防国府が方8町とされた論考に影響を受けたものと考えられる。しかし、周防国府の方8町は後の研究で、中世に形成されたものであることが判明したため、現在では、遺存地割から推測する方法は採られていない。

国府の遺跡群とその機能は、佐藤信氏によれば次のように分類される。

①儀礼…国庁、国司館、②財政…正倉院、③宗教・祭祀…国府付属寺院、律令的祭祀（人形など水辺の祭祀）、④国府内神社、国内諸社を勧請した総社、⑤文書機能…曹司、木簡、⑥給食…国厨、国司館、⑦手工業編成…官営工房、⑧交通…陸上交通（東山道駅路国府ルート）、水上交通（河川）があげられているため、これも加味しながら今までに検出されている遺構、遺物に若干の検討を加えてみたい。

(1) 工房エリア…鳥羽遺跡の調査では長さ20mを超える長方形の鍛冶工房遺構が6基発見されている。長方形の竪穴建物の中央に2列に複数の炉を備える。竈を造りつけていないことから鍛冶専用施設である。カナクソやフイゴ、未製品と思われる鉄が出土しており、8世紀前半から中葉にかけて稼動したものと思われる。

(2) 神社遺構…鳥羽遺跡では鍛冶工房跡に近接する区域から神社遺構が発見されている。武蔵国府でも同様な神社遺構が発見されている。北西の方位は、元来の鬼門とされ、この方位に神を祀るのである。平安時代の記録書である『日本三代実録』を見ても、都にある幾つかの官庁に戌亥隅神が祀られていた。武蔵国府では、この遺構が国府を守護する社であった可能性は十分にあると考えている。

(3) 国司の居宅…国府のマチは広大で、場所によっては色々な機能を持ち、様々な施設があったはずである。その中には都から赴任する国司の居宅すなわち館もあったのである。国司の定員は国の等級によって差がある。上野国の場合は十四郡を管轄する大国であったから、守を筆頭に介^{かみ}1名、掾^{すけ}2名、目^{じょう}2名という構成で、これに加えて史生^{ししょう}という書記官3名も都から派遣されていた。それぞれが館を構えて、移動もあるから営まれた国司の館は相当数にのぼる。こうした中で、現在のところ、国司の館の存在を示す資料が見つかっている。「大館」と書かれた8世紀前半の墨書土器であり、国分尼寺の西側から発見されたものである。「大館」は国府の中でも最も大きい館の意味である。したがって国司の筆頭である守の館を指すものであろう。残念ながらこの地区から館と思われる掘立柱建物跡はみつかっていない。

(4) 官衙エリア…元総社小学校校庭から発見された掘立柱建物跡は近接した場所から「曹司」といった墨書土器が発見されていることから官衙エリアの存在が考えられる。

(5) 祭祀エリア…元総社明神遺跡から人形3点、元総社寺田遺跡から人形5点と計8点の木製人形が牛池川の河道から発見された。いずれも1108年降下の浅間B軽石層に覆われていた。人形は牛池川の調査では、これより北の調査区からは全く発見されないことから、総社神社あたりで儀式がなされ、川に流されたものと考えられる。都から伝えられた律令祭祀である。

(6) 高級陶磁器などを出土するエリア…鍛冶工房跡と神社に隣接するあたり一帯からは、緑釉陶器、白磁、青磁、陶硯、銅椀、腰帯などが住居跡から多数出土している。天神遺跡や弥勒遺跡、弥勒II遺跡などがあげられる。

(7) 集落エリア…元総社蒼海遺跡群の調査結果から集落エリア①とした。時期的には古墳時代から平安時代までの集落が展開している。今後時期別の住居分布の検討が必要である。元総社明神遺跡についても同様に集落エリアが展開されるため集落エリア②とした。

(8) 大溝…大溝については断面形は上が広く、下が狭い台形である。閑泉樋遺跡の大溝①は東西溝、元総社明神遺跡の大溝②は南北、関越自動車道路沿いの大溝③は南北、国府推定A案付近の大溝④、その南西に斜め方向の大溝⑤の5カ所が存在する。かつては国府を画する大溝と認識されたが、再度検討を必要としよう。

(9) 東山道駅路国府ルート…東山道駅路国府ルートの存在も見過ごせない。その建設時期は9世紀後半ともいわれているが、この官道の開削によって陸上交通の要衝となった。

(10) 日高道…国府想定区域から一直線に伸びる条里の基軸といわれている通称「日高道」が存在する。東山道駅路と日高道の交点の北側には約120m四方で周囲に堀が巡らされ、2区画が並置する。この地点を木下良氏は群馬駅家を想定している。日高道は横倉興一氏によれば七世紀末に施行されたことが考えられている。

(11) 元総社蒼海遺跡群の調査ではすでに奈良・平安時代の住居跡が1300軒調査されている。これらの住居跡を四半世紀毎に時期別に分類して分布図を作成し分析を進める必要がある。さらに掘立柱建物跡や鍛冶遺構、道路跡、井戸跡、溝跡、氷室遺構なども集成し分析を進めていく。

(12) 官衙遺跡には、一般集落と異なるものとして墨書土器、木製人形、斎串、金属製品、畿内系暗紋土器、陶硯、須恵器、腰带類、陶磁器類、銅碗等の出土点数の多さがあげられる。今回の集成の結果からみると一般集落を遥かに超える点数が出土しており、この付近に国府が設置されたことを補強する材料となっている。今回、集成資料の一部を参考に掲載しておいた。

III 国府推定案について

すでに区画整理地内には場所は未定であるが、蒼海中央公園用地として約11,000㎡の面積が割り当てられている。この予定している公園用地については主管課である区画整理第二課より本課に以下の要望が寄せられている。「一刻も早く国府の中心地を探し当てていただき、その場所を公園として決定し、活用を図りたいため、早急な回答をお願いしたい」とのことである。したがって区画整理地内での国府の検出を優先して行っていく必要があるため、平成19年5月に文化財保護課から区画整理第二課宛てに『国府推定案』を提出した（文化財保護課『年報38』参照）。この推定案の策定にあたっては、①地形の分析…中心施設が設置できる100m四方を超えるような広い平坦な場所、②古い地図の分析…耕地図や地租改正図などにみられる地境や区画、③宮鍋神社、御霊神社（学校院若御子明神）、庁ヤ、長谷川などの地名との関連、④中世蒼海城の地割り等も加味して、A案からD案までの4案を策定した。A案からD案までの順番については、特に優位性を持たせてはいない。

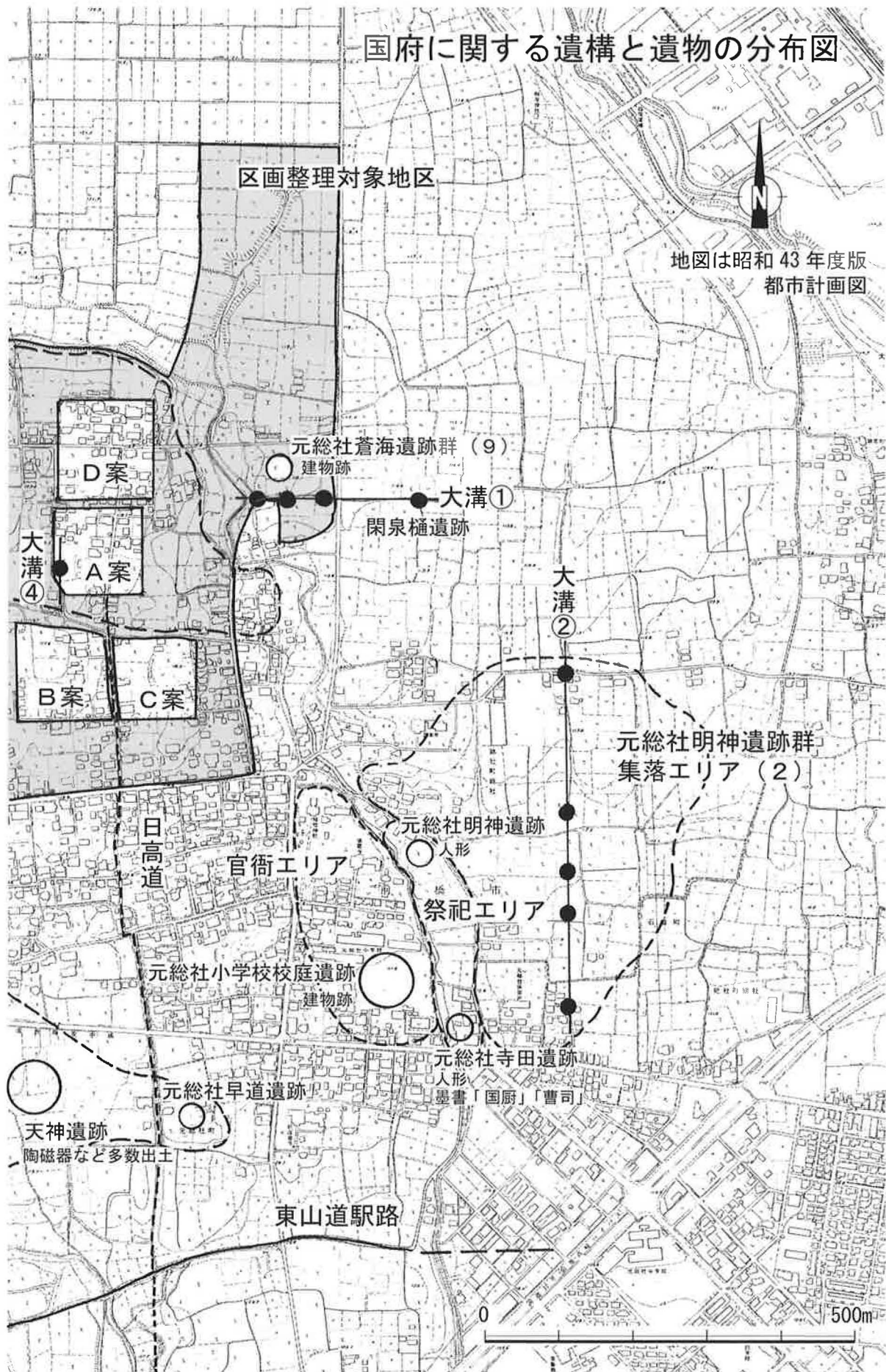
今回の国府調査では、区画整理地内について緊急性が高いため優先して調査を行って行きたいと考えている。ただし、対象とした区域の全体にも常に目を配っていくことが肝要と思われる。

今後、継続した範囲確認調査の実施と既出の資料の分析を踏まえながら、上野国府の位置、内容、構造等について一日も早く解明して行きたいと考える。

○参考文献

- 1983 前原 豊「閑泉樋遺跡」『年報13』前橋市教育委員会
 1983～1997 岸田治男ほか『元総社明神遺跡Ⅰ～ⅩⅢ』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
 1986～1992 綿貫邦夫ほか『鳥羽遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団
 1986 松島榮治「元総社小校庭遺跡」『群馬県史通史編2』
 1987 新保一美ほか『天神遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
 1987～1992 木津博明ほか『上野国分僧寺・尼寺中間地域遺跡(1)～(8)』群馬県埋蔵文化財調査事業団
 1987 金子正人ほか『寺田遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
 1990 新保一美ほか『弥勒遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団
 1993～1996 藤巻幸男ほか『元総社寺田遺跡Ⅰ～Ⅲ』群馬県埋蔵文化財調査事業団
 2000～2005 齋木一敏ほか 元総社蒼海遺跡群①～⑬ 前埋文・前橋市教育委員会
 2003 井川達雄『元総社西川・塚田中原遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団
 2006～2012 近藤雅順ほか『元総社蒼海遺跡群(1)から(36)』前埋文・前橋市教育委員会
 2006 前原 豊「弥勒Ⅱ遺跡」『年報36』前橋市教育委員会





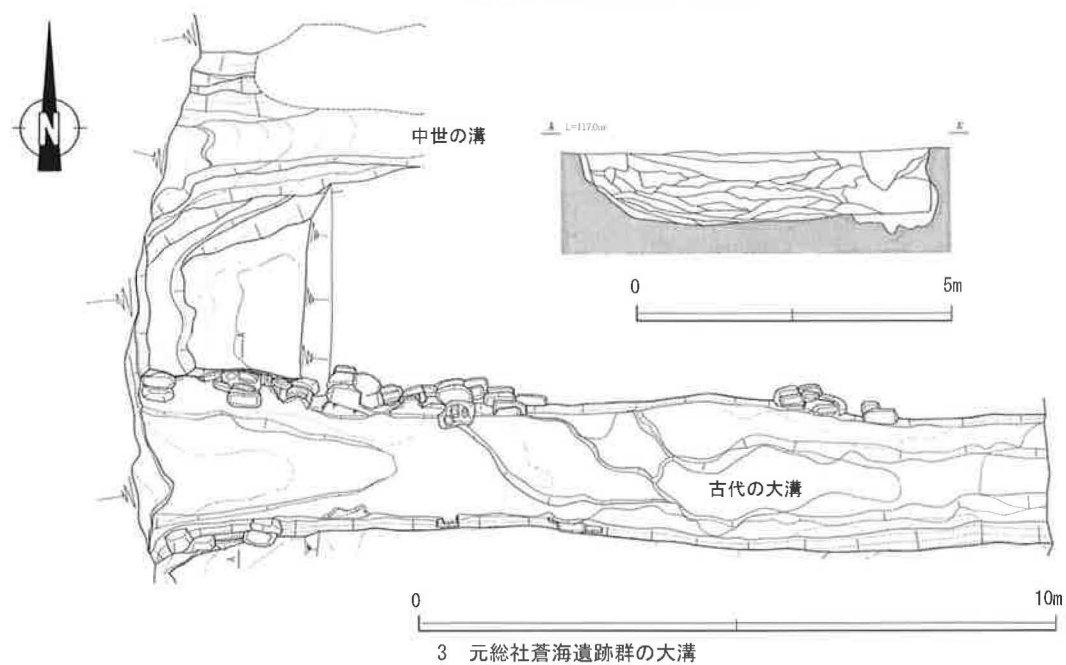
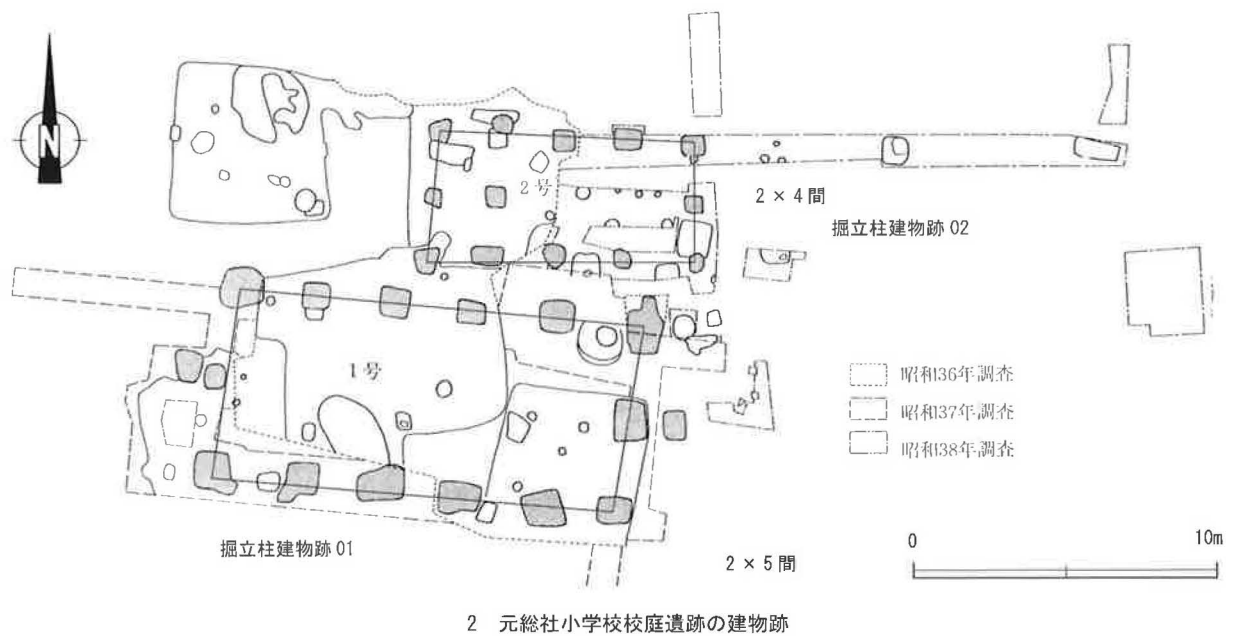
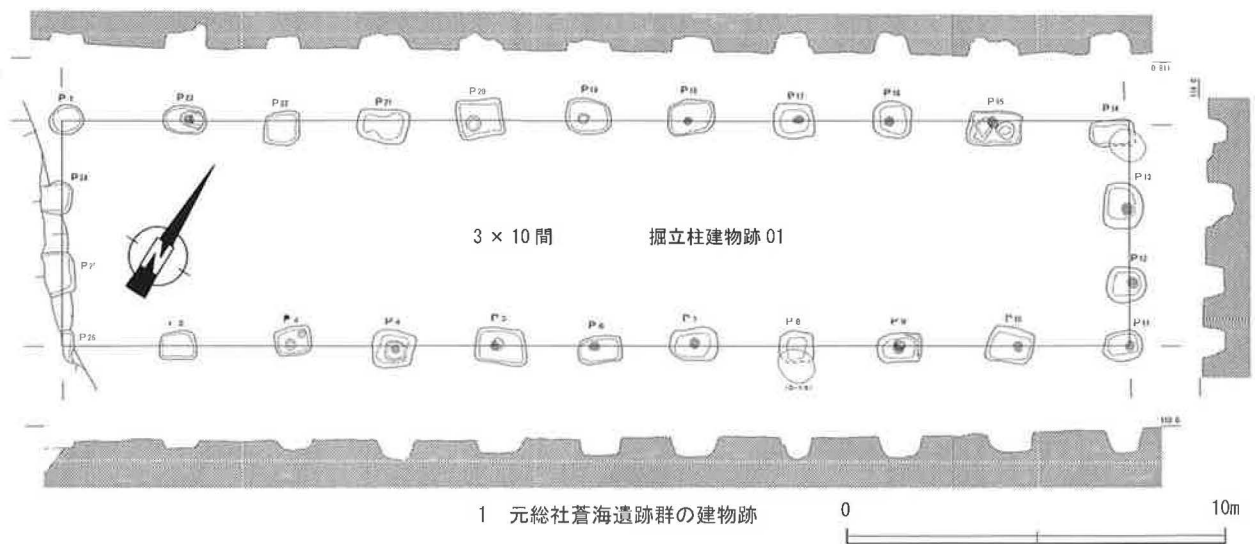
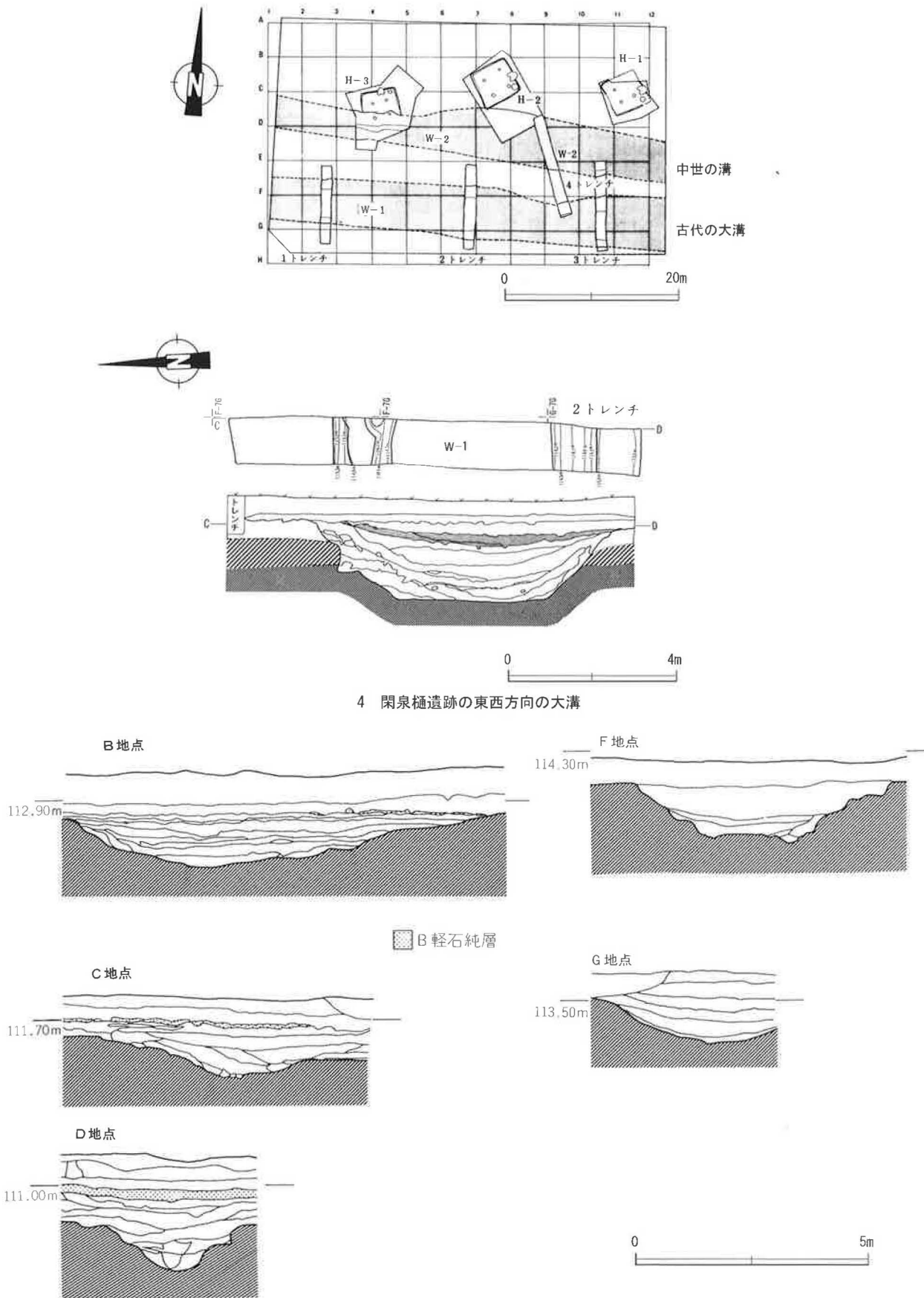


Fig.18 推定上野国府周辺の遺構(1)



4 閑泉樋遺跡の東西方向の大溝
Fig.19 推定上野国府周辺の遺構(2)

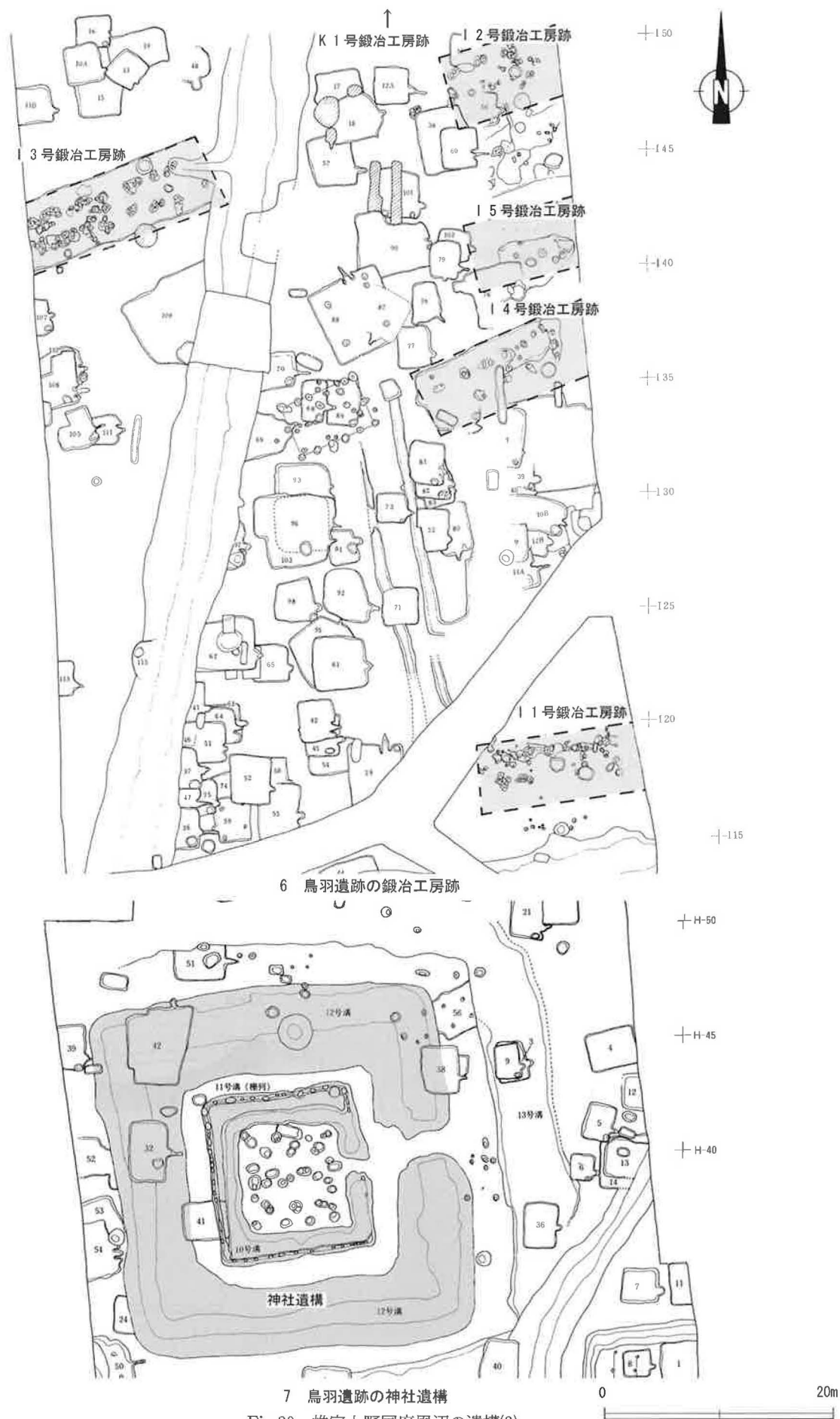


Fig.20 推定上野国府周辺の遺構(3)

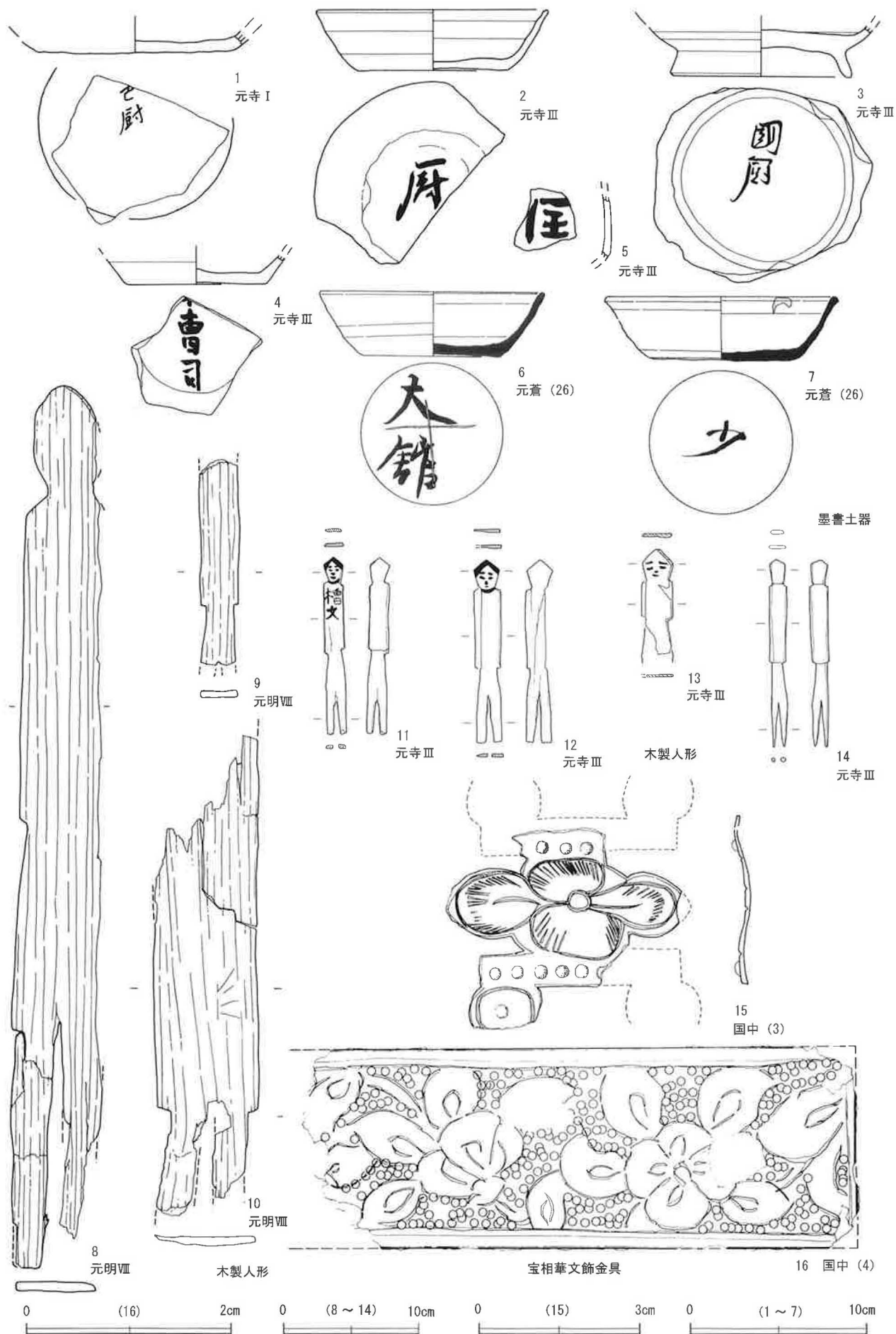


Fig.21 推定上野国府周辺遺跡の出土遺物(1)

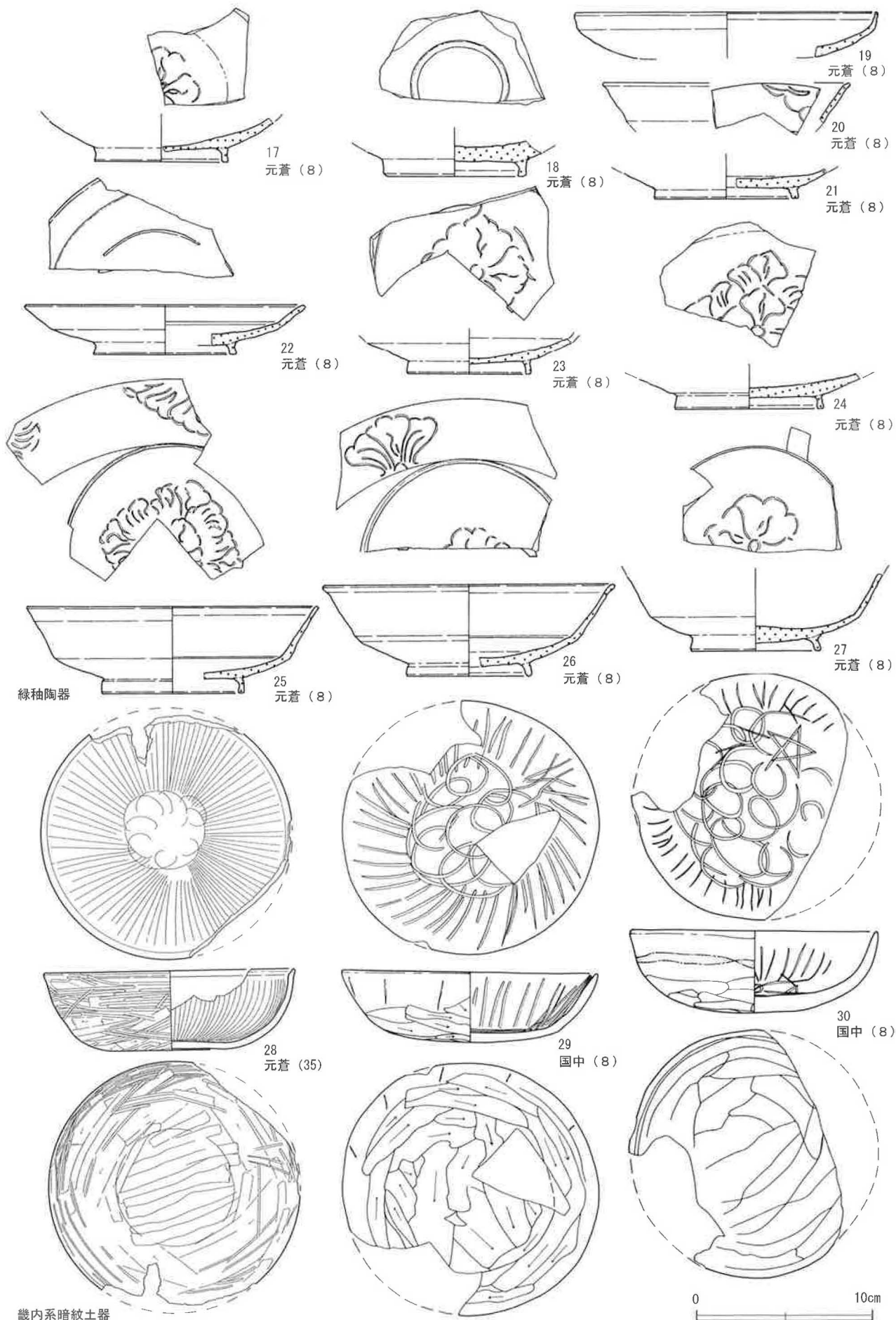


Fig.22 推定上野国府周辺遺跡の出土遺物(2)

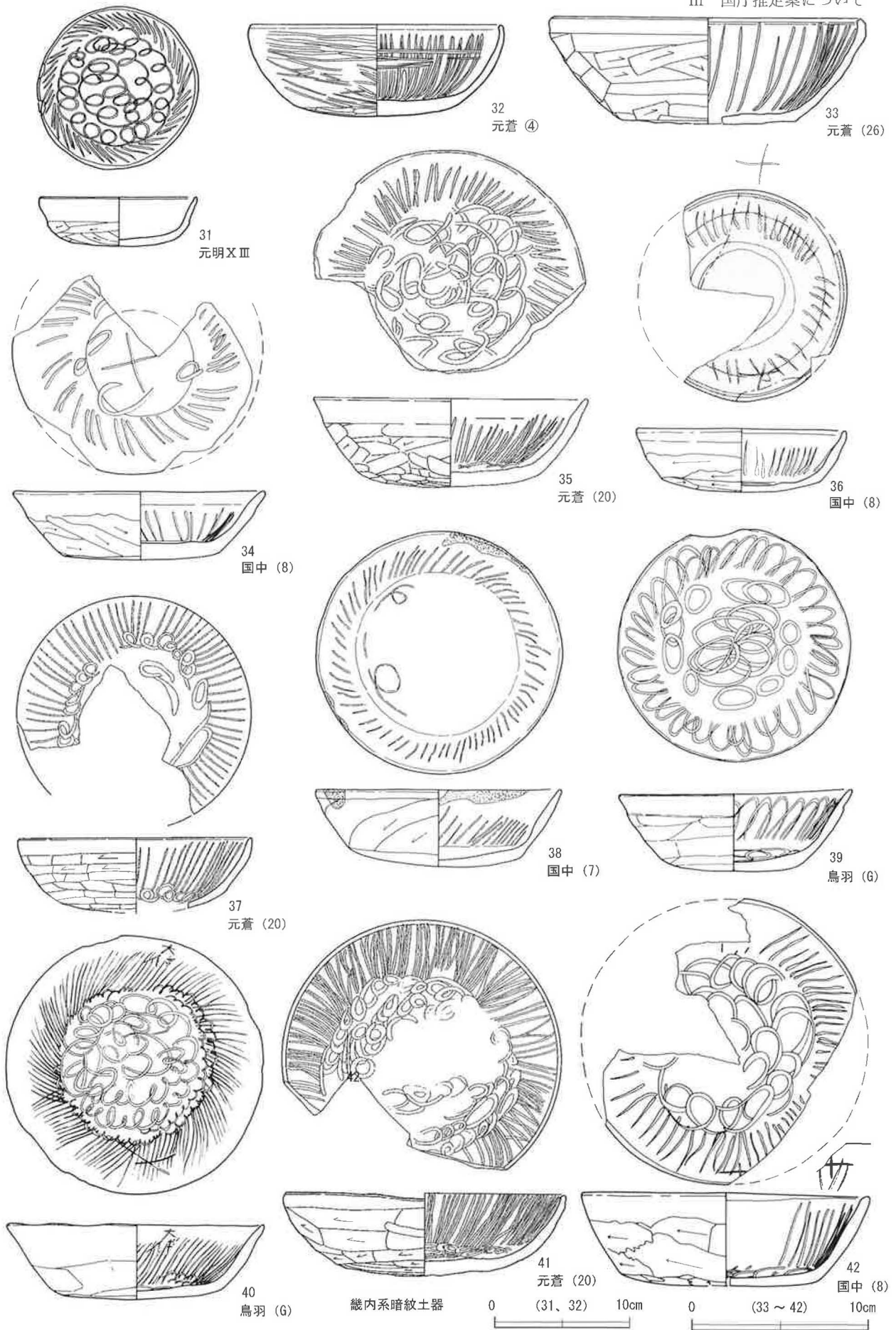


Fig.23 推定上野国府周辺遺跡の出土遺物(3)

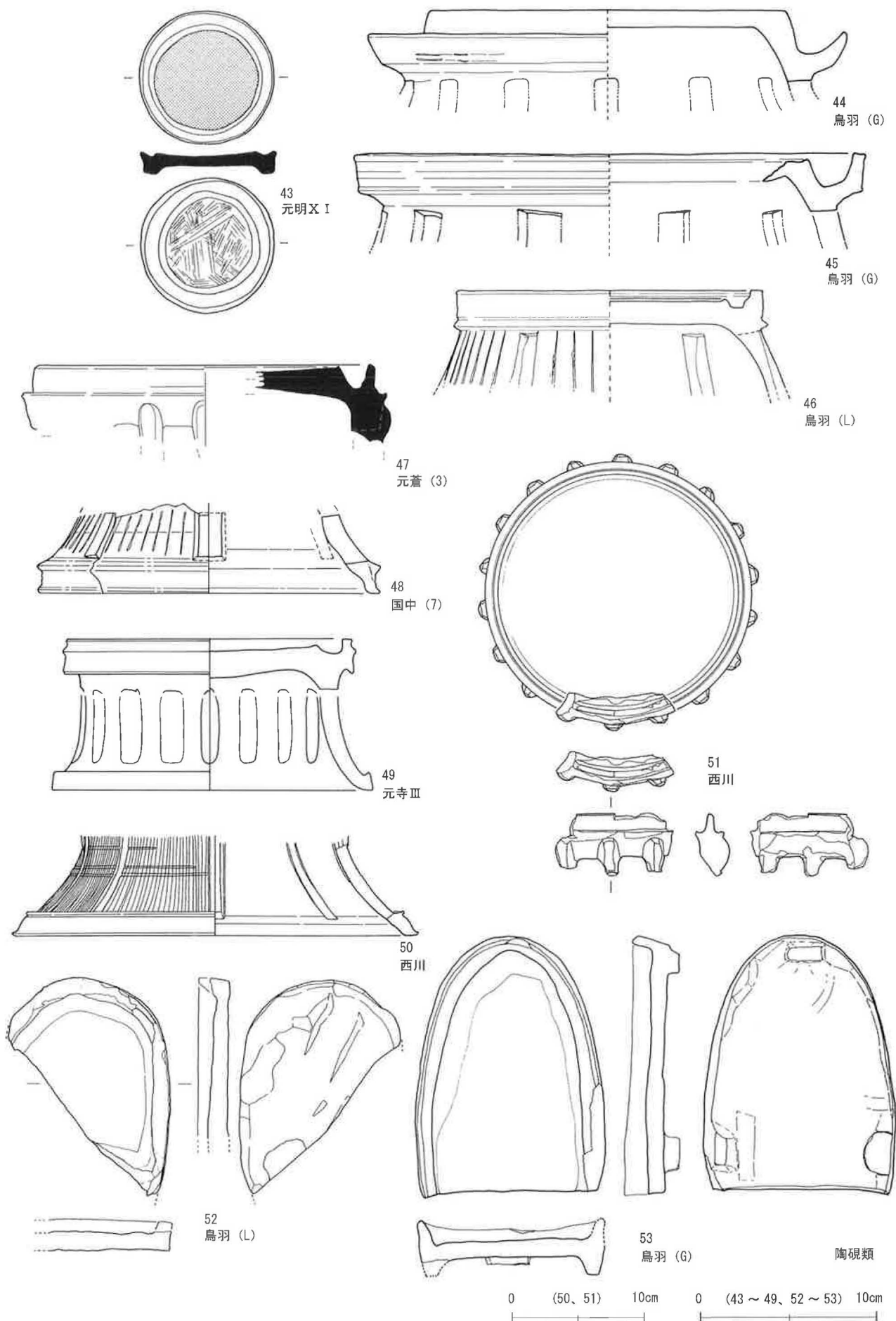


Fig.24 推定上野国府周辺遺跡の出土遺物(4)

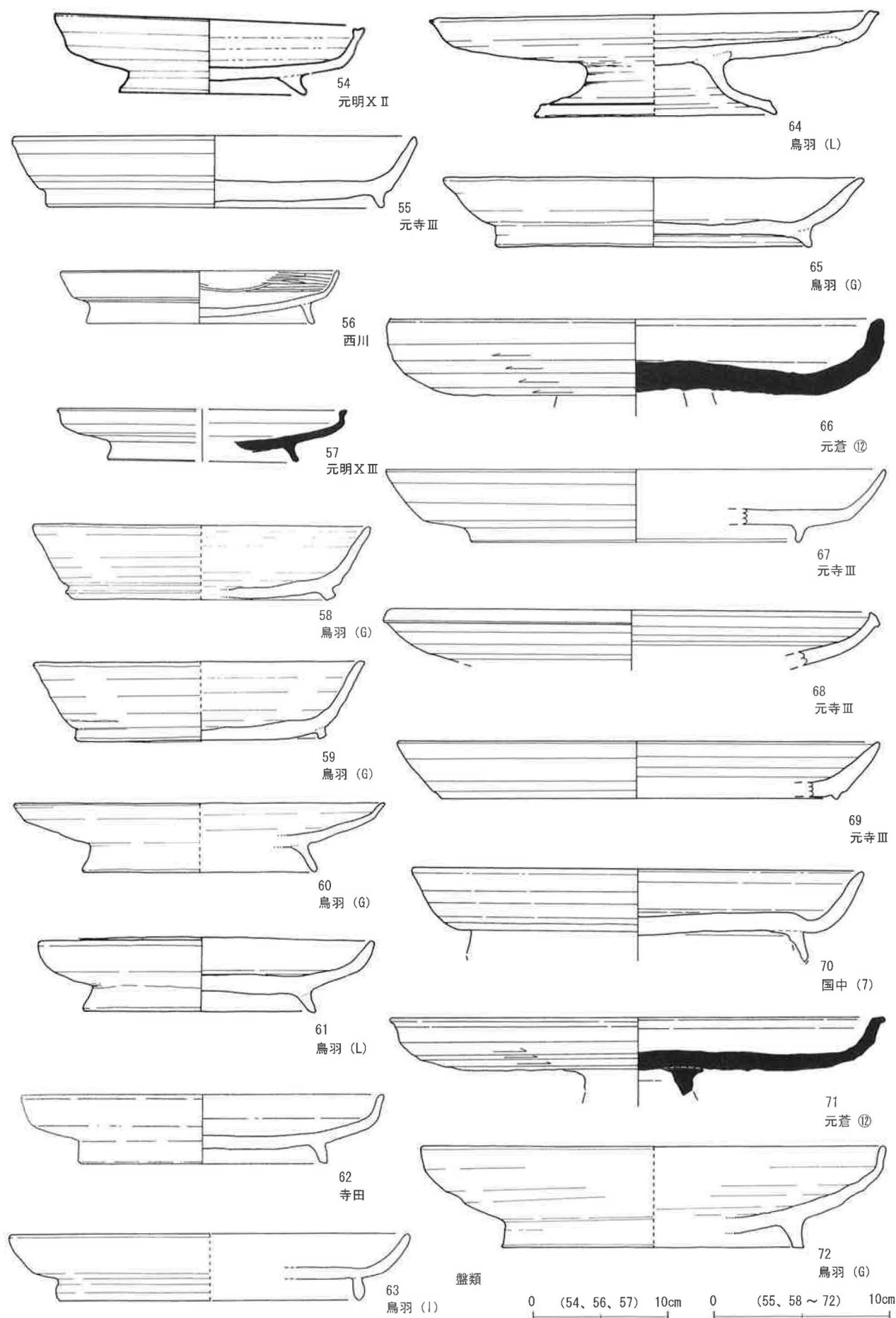


Fig.25 推定上野国府周辺遺跡の出土遺物(5)

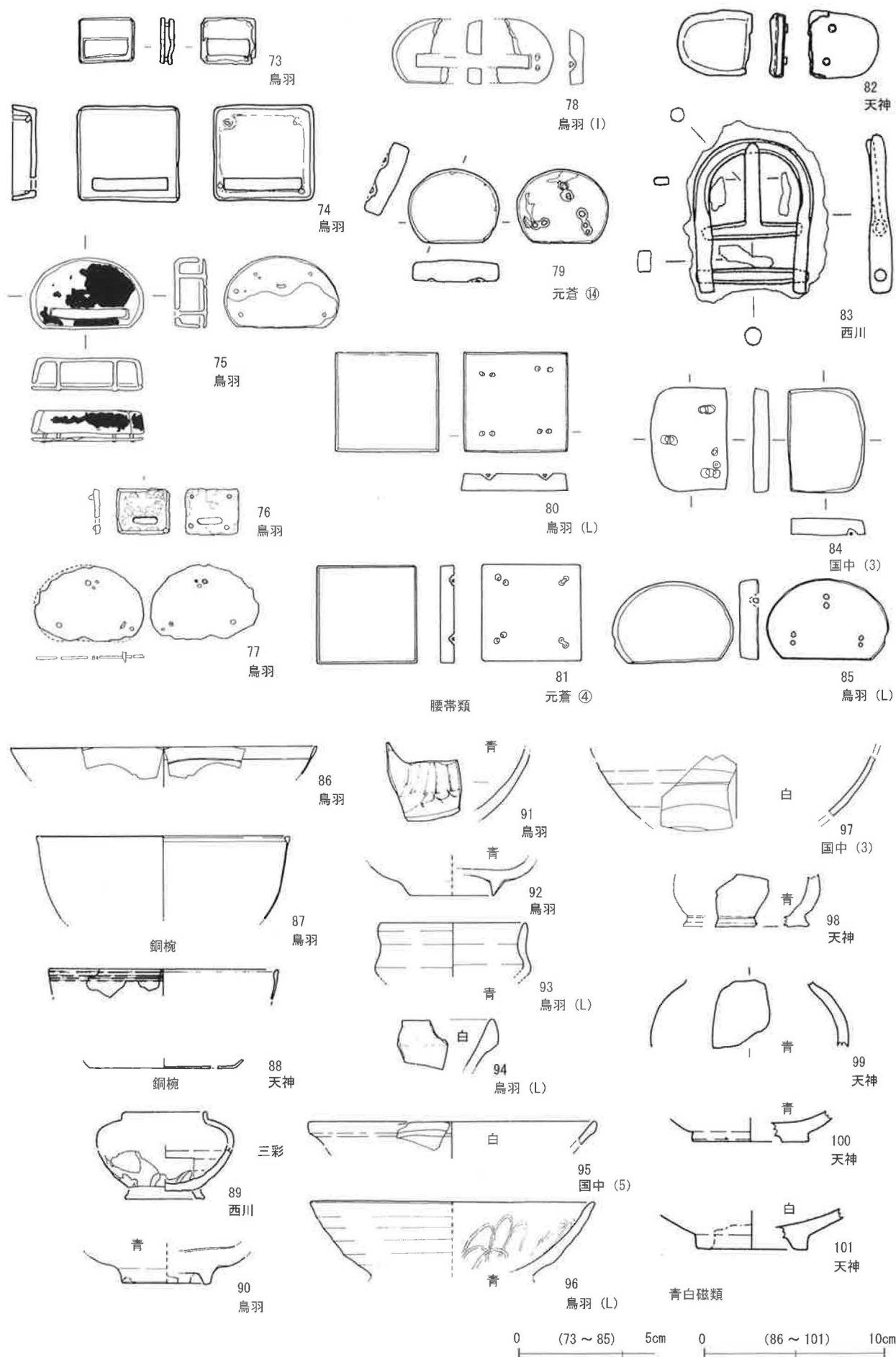


Fig26 推定上野国府周辺遺跡の出土遺物(6)

Tab.5 元総社蒼海遺跡群①～⑤報告書一覧表

所収遺跡名	種別	主な遺跡	主な遺構	主な遺物	特記事項
元蒼遺跡群① 総社閑泉明神北遺跡	遺物包含層	縄文時代		加曾利E式土器、後期土器	五輪塔の地輪には「文明四(1472)年」の紀年名及び金泥
	生産跡	古墳時代	浅間C軽石下畠跡、FA下水田跡	土師器、須恵器、木製品	
	遺物包含層	平安時代	住居跡		
	遺物包含層	中世	溝、井戸、土坑	中世陶器、五輪塔、石臼	
元蒼遺跡群② 元総社小見遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡 3軒 性格不明遺構 2基	諸磯b・c式土器、加曾利E4式土器、石鏃、石鋸、石匙	5区の住居跡から、浄瓶、7区で2間×3間の総柱建物跡
	集落跡	古墳～奈良・平安時代	竪穴住居跡 90軒 掘立柱建物跡 1棟 竪穴状遺構 2基 性格不明遺構 3基 道路状遺構 4条 溝跡 8条 土坑 24基	土師器埴・台付甕、須恵器蓋・坏・高台付坏・無蓋高坏・高台付皿・耳皿・羽釜・円面碗、灰釉陶器碗・段皿・短頸壺・水瓶、緑釉陶器高台付皿、金属製品(鉄鏃、引手、逆輪、刀子、鎌)、火打石、元豊通宝、土製品(紡錘車、丸瓦、平瓦)、石製品(白玉、支脚)	
元蒼遺跡群③ 総社甲稻荷塚大道西遺跡	集落跡	平安時代	竪穴住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、土坑、柱穴	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦、鉄器 他	重複多数
元蒼遺跡群③ 総社閑泉明神北II遺跡	集落跡	古墳～平安時代	竪穴住居跡、溝跡、土坑、柱穴、落ち込み	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦、鉄器 他	10世紀河川の氾濫
元蒼遺跡群③ 総社甲稻荷塚大道西II遺跡	集落跡	古墳～平安時代	竪穴住居跡、竪穴状遺構、溝跡、土坑、柱穴、井戸跡	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦、鉄器 他	重複多数
元蒼遺跡群④ 元総社小見内III遺跡	遺物包含層	縄文時代～弥生時代	住居跡	加曾利E式土器、石器類、弥生式土器、紡錘車	浅間B軽石以前の道路状遺構。さらに、この道路状遺構の両側には並行している溝跡を検出
	集落跡 道路、溝跡	古墳～奈良・平安時代	住居跡、溝跡、土坑、井戸、掘立柱建物跡	土師器、須恵器、陶器類、瓦、風字瓦、金属製品、石製品	
	墓域、区画溝跡	中世	土坑墓、火葬墓、溝跡、道路状遺構	陶器、五輪塔、石臼	
	墓域	近世	土坑墓		
元蒼遺跡群⑤ 元総社小見II遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡、土坑	加曾利E式土器、石器	調査区の東側中世の溝は、底辺の広い逆台形で、底面の両側に側溝状の小溝を持ち、中央部は全体に硬化している。
	集落跡	古墳時代	住居跡	土師器・須恵器	
	集落跡	奈良・平安時代	住居跡、掘立柱建物跡	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦、輸入陶磁器	
	溝跡、道路	中世	溝跡、道路状遺構	金属製品、陶器類、石製品	
	墓域	近世	井戸、土坑		

第2章 上野国府に関連する既出資料の集成について

所収遺跡名	種別	主な遺跡	主な遺構	主な遺物	特記事項
元蒼遺跡群⑥ 元総社小見Ⅲ遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡	加曽利E式土器、石器	規模の大きい薬研状の断面を持つ中世の溝跡
	集落跡	古墳～奈良・平安時代	住居跡、柱穴列、溝跡、井戸、土坑、土坑墓	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦、鉄製品	
	集落・土坑墓	中世	道路状遺構、土坑、溝跡、井戸跡、土坑墓	陶磁器、石臼、五輪塔	
元蒼遺跡群⑥ 元総社小見Ⅲ遺跡	集落跡	古墳～奈良・平安時代	住居跡、土坑	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、白磁、瓦、鉄製品、陶器類	住居跡からの白磁碗
	溝跡、土坑墓、火葬墓	中世	溝跡、井戸跡、土坑、土坑墓、火葬跡	陶器類	
元蒼遺跡群⑦ 総社甲稻荷塚大塚西Ⅲ遺跡	集落跡	古墳～平安時代	住居跡37軒、竪穴状遺構1基、井戸跡5基、溝13条、畠跡 他	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦、石器、鉄器 他	
元蒼遺跡群⑦ 総社閑泉明神北Ⅲ遺跡	集落跡	縄文時代、古墳～平安時代	住居跡25軒、井戸跡1基、溝1条、土坑12基 他	縄文土器、土師器、須恵器、瓦、石器、鉄器 他	
元蒼遺跡群⑧ 元総社小見内Ⅳ遺跡	集落跡	古墳・奈良・平安・中世	住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、土坑、土坑墓、柱穴 他	土師器、須恵器、灰釉陶器、青磁、かわらけ、瓦、鉄製品 他	
元蒼遺跡群⑨ 元総社小見Ⅳ遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡3軒	縄文土器、石器	1200点あまりの瓦片が出土。「山田」、「當」という押印をもつものや、「伴一」「手」「日」と銘書するもの。
	集落跡	古墳時代	住居跡1軒	土師器	
	集落跡	奈良時代	住居跡1軒	土師器、須恵器	
	集落跡	平安時代	住居跡24軒	須恵器、石器、鉄器、瓦	
	集落跡	中世	溝2条		
	集落跡	その他	土坑1基 他		
元蒼遺跡群⑩ 元総社小見Ⅴ遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡3軒	縄文土器、石器	
	集落跡	古墳時代	住居跡2軒	土師器	
	集落跡	平安時代	住居跡11軒	土師器、須恵器、瓦、石器、鉄器 他	
	集落跡	中世以降	掘立柱建物跡1棟、畠跡、土坑13基 他		
元蒼遺跡群⑩ 元総社小見Ⅵ遺跡	集落跡	奈良時代	住居跡1軒	土師器	粘土探掘坑
	集落跡	平安時代	住居跡7軒、溝8条	土師器、須恵器、瓦、石器 鉄器 他	
	集落跡	中世以降	井戸跡3基、土坑11基 他		
元蒼遺跡群⑪ 元総社小見Ⅶ遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡2軒、土坑1基 他	縄文土器、打製石斧、多孔石 他	厨房的存在と考えられる住居跡2軒
	集落跡	奈良・平安時代	住居跡16軒、掘立柱建物跡1軒、溝跡2条、土坑1基 他	土師器、須恵器、鉄器、鉄製品、石製品、瓦 等	
	集落跡	中世以降	溝跡、畠跡、土坑墓 他	古銭 等	

III 国庁推定案について

所収遺跡名	種別	主な遺跡	主な遺構	主な遺物	特記事項
元蒼遺跡群⑫ 元総社小見内Ⅷ遺跡	集落跡	奈良・平安時代	住居跡14軒 他	土師器、須恵器、かわらけ、鉄器、鉄製品、石製品、瓦 等	火砕流 (Hr-FPF1) で被災した水田跡
	集落跡	中世以降	竪穴状遺構 1 軒、溝跡 5 条 他		
元蒼遺跡群⑬ 総社甲稻荷塚大道西Ⅳ遺跡	畠跡	古墳時代	畠跡、溝跡 他		
	畠跡	中世以降	畠跡、溝跡、井戸跡 他		
元蒼遺跡群⑭ 元総社小見内Ⅸ遺跡	集落跡	奈良・平安時代	住居跡23軒 他	土師器、須恵器、瓦 他	
	集落跡	中世	溝跡、井戸跡		
元蒼遺跡群⑮ 総社閑泉明神北Ⅴ遺跡	集落跡	平安時代	住居跡 2 軒	土師器、須恵器	
	水田跡	古墳時代	住居跡 2 軒、「小区画水田」跡 1 面、溝 1 条 他	土師器、須恵器、加工材	
元蒼遺跡⑯ 元総社小見Ⅵ遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡 2 軒、土坑11基	縄文土器、石器	転用硯が検出された住居跡
	集落跡	古墳時代	住居跡15軒	土師器、須恵器	
	集落跡	奈良・平安時代	住居跡68軒、溝跡 2 条、土坑 7 基	土師器、須恵器、鉄製品、瓦	
	集落跡	中世	土坑 2 基		
元蒼遺跡⑰ 元総社小見内Ⅹ遺跡	包含層	縄文時代	住居跡 2 軒、土坑11基	縄文土器、石器	9 号住居跡で、平安時代と考えられる金片が出土。金属などを加工した工房跡と考えられる。8 号溝跡では、青磁片、滑石製印判を検出。採掘坑は、灰白色のシルトを採取した可能性がある。
	集落跡	古墳～奈良・平安時代	住居跡、工房跡、道路状遺構	土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、金片、金粒	
	工房跡	古墳～奈良・平安時代	粘土採掘坑、土坑、周溝状遺構、畝状遺構、溝跡、井戸跡		
	生活跡	中世	土坑、溝跡、井戸跡、土坑墓	陶器類、人骨、滑石製印判、銭貨	

Tab. 6 元総社蒼海遺跡群(1)～(36)報告書一覧表

所収遺跡名	種別	主な遺跡	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社蒼海遺跡群(1)	集落	古墳時代	住居跡 4 軒 他	土師器、須恵器 等	蒼海城関連掘跡
		奈良・平安時代	住居跡32軒、掘立柱建物跡 2 棟、溝跡11条他	土師器、須恵器、鉄器、石製品、瓦	
		中世以降	溝跡 7 条	かわらけ、陶磁器片	
元総社蒼海遺跡群(2)	集落	古墳時代	住居跡 1 軒	土師器、須恵器	
		奈良・平安時代	住居跡22軒、竪穴状遺構 1 基、溝跡 7 条	土師器、須恵器、鉄器、瓦	
		中世以降	竪穴状遺構 2 基、溝跡 7 条、井戸跡 1 基		
元総社蒼海遺跡群(3)	集落	縄文時代	住居跡 7 軒、土坑 7 基	縄文土器、石器	浅間 B 軽石下の溝跡。南北方向に直線に走向し、断面形状が楕形。上幅4.7m～6.2m、下幅3.2～4.8m、確認面からの深さ0.7～0.8m。
		古墳時代	住居跡 8 軒	土師器、須恵器、紡錘車	
		奈良・平安時代	住居跡43軒	土師器、須恵器、紡錘車、瓦、鉄製品	
		不明	住居跡 3 軒、土坑 9 基、ピット42基、集石遺構	土師器、須恵器	
元総社蒼海遺跡群(4)	集落	縄文時代	住居跡 2 軒、土坑 2 基	縄文土器、石器	
		古墳時代	住居跡 4 軒	土師器、須恵器、石製模造品	
		奈良・平安時代	住居跡18軒、竪穴状遺構 1 基、溝跡 4 条	土師器、須恵器、鉄製品	
		不明	溝跡 2 条、井戸跡 1 基	石製品、土製品、瓦	
元総社蒼海遺跡群(5)	集落墓跡	古墳時代	住居跡 1 軒	土師器、須恵器 他	
		奈良・平安時代	住居跡22軒、溝跡 1 条	土師器、須恵器 他	
		中世以降	溝跡 4 条、周溝状遺構 1、土坑墓58基、火葬墓 2 基	かわらけ、板碑、五輪塔、銅銭 他	
		不明	溝跡 4 条、土坑40、ピット		
元総社蒼海遺跡群(6)	集落	奈良・平安時代	住居跡28軒、鍛冶工房跡 1、溝 1 条	土師器、須恵器、瓦、鉄器、石製品 等	蒼海城関連掘跡
		中世	溝 5 条、土坑墓 2 基、土坑		
元総社蒼海遺跡群(7)	集落	奈良・平安時代	住居跡 2 軒、溝跡 5 条、土坑 2 基	土師器、須恵器、瓦、鉄器、石製品、瓦	国府北辺の区画溝か
		中世以降	溝跡 7 条 他		
元総社蒼海遺跡群(8)	集落	古墳時代	住居跡 2 軒	土師器、須恵器	
		奈良・平安時代	住居跡44軒、溝跡 8 条	土師器、須恵器、鉄製品、緑釉陶器、瓦	
		中世	溝跡 7 条、井戸跡 1 基		
元総社蒼海遺跡群(9)・(10)	集落	縄文時代	住居跡 2 軒	縄文土器、石器	晩期の遺構・遺物
		古墳時代	住居跡 6 軒	土師器、須恵器	
		奈良・平安時代	住居跡43軒、掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 1 条、土坑32基 他	土師器、須恵器、灰釉陶器、鉄器、瓦 他	
		中世	溝 1 条 他		
元総社蒼海遺跡群(11)	集落	古墳時代	住居跡 7 軒	土師器、須恵器	
		奈良・平安時代	住居跡28軒、竪穴状遺構 3 基、溝跡 2 条	土師器、須恵器、瓦	
		中世	溝跡 3 条		

所収遺跡名	種別	主な遺跡	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社蒼海遺跡群(12)	集落	古墳時代	住居跡 2 軒、竪穴状遺構 1 基	土師器	
		奈良・平安時代	住居跡74軒、竪穴状遺構 1 基、溝跡 3 条、井戸跡 2 基	土師器、須恵器、鉄製品、石製品、瓦	
		中世	溝跡12条、井戸跡 4 基、土坑墓 1 基	鉄製品	
元総社蒼海遺跡群(13)	集落	縄文時代	住居跡 4 軒、土坑18基	縄文土器、土偶、石器	
		古墳時代	住居跡21軒	土師器、須恵器 他	
		奈良・平安時代	住居跡68軒、竪穴状遺構 5 基、工房跡 1 基、溝跡12条 他	土師器、須恵器、三彩、緑釉陶器、鉄製品、石製品、瓦	
		中世	溝跡16条、土坑墓 1 基		
元総社蒼海遺跡群(14)	集落	古墳時代	住居跡14軒、水田址、畝状遺構	土師器、須恵器	
		奈良・平安時代	住居跡 6 軒、掘立柱建物跡 2 棟、溝跡 4 条	土師器、須恵器、鉄製品、石製品、瓦	
		中世	溝跡 4 条、井戸跡13基、竪穴状遺構 1 基	軟質土器、石製品、瓦	
元総社蒼海遺跡群(15)	集落 墓跡 その他	奈良・平安時代	住居跡15軒、掘立柱建物跡 1 棟、溝20条、井戸跡 2 基、土坑墓 1 基、土坑81基、ピット221基	縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、石製品、鉄製品、中世・近世陶磁器 他	
		中世			
		近世			
元総社蒼海遺跡群(16)	集落 その他	奈良・平安時代	住居跡16軒、井戸跡 1 基、土坑36基、ピット 260基、風倒木痕 1 ヶ所、畠跡 1、道路状遺構 1	縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、石製品、鉄製品、中世・近世陶磁器 他	
		中世			
		近世			
元総社蒼海遺跡群(17)	集落	古墳時代	住居跡13軒	土師器、須恵器	
		奈良・平安時代	住居跡28軒、竪穴状遺構 2 基、溝跡 4 条、土坑、ピット	土師器、須恵器、瓦、灰釉陶器、鉄製品	
		中世以降	土坑墓 2 基、土坑10基、ピット231基、井戸跡 2 基、溝跡 5 条	灯明皿、軟質土器、板碑、石臼	
		不明	住居跡 9 軒、溝跡 2 条		
元総社蒼海遺跡群(18)	集落 その他	奈良・平安時代	住居跡31軒、溝 5 条、井戸跡 4 基、土坑94基、ピット311基、風倒木痕 2 ヶ所、掘り込み状遺構 1	縄文土器、石器、土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、石製品、鉄製品、銅製品、舶載青磁、白磁、かわらけ、古銭 他	
		中世			
		近世			
元総社蒼海遺跡群(19)	水田址	古墳時代	小区画水田	木器、土師器、須恵器	
		中世	井戸跡	漆器	
元総社蒼海遺跡群(20)	集落 その他	古墳時代	住居跡 6 軒	土師器、須恵器 他	
		奈良・平安時代	住居跡61軒、竪穴状遺構 2 基、溝跡10条、土坑51基	土師器、須恵器、鉄製品、石製品、瓦	
		中世	溝跡13条、土坑墓 1 基	鉄製品、石製品	
元総社蒼海遺跡群(21)	上野国府関連遺構 蒼海城跡	平安時代	竪穴状遺構 4 基、土坑 137基（内、井戸 5 基、竪穴状遺構 1 基）、溝 9 条、ピット759基、盛土状遺構（土塁） 1	須恵器、灰釉陶器、瓦、石製品、陶磁器、かわらけ	蒼海城改修前後の堀を確認
		中世			
元総社蒼海遺跡群(22)	集落 その他	古墳時代	住居跡56軒、竪穴状遺構 5 基、土坑66基、溝跡 5 条、土坑66基、ピット105基	縄文土器、石器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦、石製品、鉄製品、陶磁器、古銭	10区弥生時代の土坑。10区鍵出土。
		奈良・平安時代			
		中近世			

第2章 上野国府に関連する既出資料の集成について

所収遺跡名	種別	主な遺跡	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社蒼海遺跡群(23)	集落 上野国府関連 遺構 蒼海城跡	古墳時代	住居跡20軒、性格不明 遺構 1 基、土坑35基 (内、井戸 7 基、風倒 木痕 1 ヶ所)、溝跡14 条、ピット101基	土師器、須恵器、灰釉 陶器、瓦、鉄製品、銅 製品、陶磁器、かわら け	蒼海城改修前後の堀 を確認
		奈良・平安時代			
		中世			
元総社蒼海遺跡群(24)	集落	縄文時代	住居跡 2 軒、土坑 7 基	縄文土器、石器	
		古墳時代	住居跡 5 軒	土師器、須恵器	
		奈良・平安時代	住居跡27軒、竪穴状遺 構 6 基、溝跡 7 条、土 坑64基	土師器、須恵器、灰釉 陶器、鉄製品、石製品、 皇朝十二銭	
		中世	方形竪穴 5 基、井戸 2 基、溝 4 条	銅製品、石製品、北宋 銭	
元総社蒼海遺跡群(25)	集落	古墳時代	住居跡10軒、土坑 4 基、 溝跡 1 条、ピット30基	土師器、須恵器、灰釉 陶器、鉄製品、陶磁器	南宋～元時代（13～ 14世紀）の青白磁梅 瓶が 2 個体完形で出 土
		奈良・平安時代			
		中近世			
元総社蒼海遺跡群(26)	集落	古墳時代	住居跡 9 軒	土師器、須恵器 他	
		奈良・平安時代	住居跡90軒、竪穴状遺 構 9 基、溝跡16条、土 坑38基	土師器、須恵器、鉄製 品、石製品、瓦	
		中世	溝跡 2 条、土坑墓 3 基	鉄製品、石製品	
元総社蒼海遺跡群(27)	集落 上野国府関連 遺構 蒼海城関連遺 構	古墳時代	住居跡51軒、溝17条、 土坑49基、ピット 3 基、 竪穴状遺構 4 基、井戸 1 基、焼土跡 1 基、掘 立柱建物跡 2 棟	土師器、須恵器、羽釜、 灰釉陶器、緑釉陶器、 鉄製品、石製模造品、 石製品、	古墳時代前期から平 安時代の集落。 8 世紀代と想定され る掘立柱建物跡を確認
		奈良・平安時代			
		中世			
元総社蒼海遺跡群(28)	集落 蒼海城関連遺 構	弥生時代	住居跡47軒、溝18条、 土坑26基、ピット 1 基、 竪穴状遺構 5 基	土師器、須恵器、灰釉 陶器、緑釉陶器、鉄製 品、石製模造品、常滑 大甕、石製品、瓦	弥生時代後期から平 安時代の集落
		古墳時代			
		奈良・平安時代			
		中世			
元総社蒼海遺跡群(29)	集落 その他	古墳時代	住居跡26軒	灰釉陶器、須恵器、土 師器	古墳～平安時代の集 落
		奈良・平安時代			
		中世	堀・溝跡12条、掘立柱 建物跡 1 棟、墓坑14基、 火葬跡 2 基、地下式土 坑 1 基、井戸、土坑、 ピット333基	かわらけ、宝篋印塔、 五輪塔、板碑、古銭	蒼海城に伴うと推定 される堀跡。中近世 の土坑墓・火葬跡。
元総社蒼海遺跡群(30)	集落 その他	古墳時代	住居跡 6 軒	雁又鉢、灰釉陶器、須 恵器、土師器	古墳～平安時代の集 落
		奈良・平安時代			
		中世	道路跡 1 条、堀・溝跡 6 条、墓坑 2 基、火葬 跡 1 基、井戸、土坑、 ピット23基	かわらけ、五輪塔、古 銭	中世期の道路状遺構 と蒼海城の堀と推定 される堀跡。中世の 土坑墓・火葬跡。
元総社蒼海遺跡群(31)	集落 その他	古墳時代	住居跡16軒	かわらけ、陶磁器、五 輪塔、古銭	蒼海城の堀跡
		中近世	道路状遺構 1 基、堀・ 溝跡 5 条、井戸 1 基、 土坑21基、ピット51基	かわらけ、陶磁器、五 輪塔、古銭	
元総社蒼海遺跡群(32)	集落	古墳時代	住居跡24軒、竪穴状遺 構 2 基、溝 3 条、土坑 10基	土師器、須恵器	
		奈良・平安時代			
		中世	溝 2 条、道路状遺構 2 条、土坑墓 1 基	鉄製品	

所収遺跡名	種別	主な遺跡	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社蒼海遺跡群(33)	集落	古墳時代	住居跡48軒、掘立柱建物1棟、粘土探掘坑1、道路状遺構1条	土師器、須恵器、鉄製品、瓦	
		奈良・平安時代			
		中世	竪穴状遺構2基、溝跡10条、井戸跡10基、土坑墓6基	土師器、須恵器、鉄製品、砥石	
元総社蒼海遺跡群(34)	集落 その他	奈良・平安時代	住居跡18軒、溝跡13条、土坑墓3基、土坑26基、ピット14基、竪穴状遺構5基、その他3基	土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品、鉄製品、銅銭、かわらけ	
		中近世			
元総社蒼海遺跡群(35)	集落 その他	1区縄文時代	住居跡1軒	縄文土器、石器	古墳～平安時代の集落。畿内産土師器。布堀を伴う掘立柱建物跡。蒼海城関連の堀跡。
		古墳時代	住居跡22軒、掘立柱建物跡2棟、土坑、ピット等	土師器、須恵器、灰釉陶器、畿内産土師器、鉄製品、古銭	
		平安時代			
		中世	堀・溝跡4条、土坑墓1基		
		2区奈良時代 他	住居跡4軒、溝、土坑、ピット	土師器、須恵器	奈良時代他の集落
		3区古墳時代	住居跡12軒、掘立柱建物跡1棟、溝、土坑、ピット	土師器、須恵器	古墳時代後期の集落。5間×4間の掘立柱建物跡。
		奈良時代以降			
元総社蒼海遺跡群(36)	集落 その他	古墳時代	溝跡3条、畠跡		
		平安時代	住居跡17軒、竈構築材探掘坑跡2、水田区画	土師器、須恵器、施釉陶器、瓦、砥石、鉄製品	鉄製紡錘車、鉄鏃
		平安～中近世	溝跡8条、堀跡4条、土坑17基、井戸跡2基	土師器、須恵器、埴輪、かわらけ、石臼、板碑、内耳土鍋、陶器、焙烙	地下式土坑状

Tab. 7 元総社蒼海遺跡群遺物集計表

No.	遺跡名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		土師器			須恵器			かわ らけ	瓦	古 銭	埴 輪	陶 器			磁 器		
		大	中	小	大	中	小					灰 釉	緑 釉	三 彩	青	白	青 花
1	元総社蒼海遺跡群①	0	1	16	1	1	43	0	2	2	0	5	0	0	0	0	0
2	元総社蒼海遺跡群②	4	8	41	0	2	32	0	5	1	0	9	1	0	0	0	0
3	元総社蒼海遺跡群③	0	6	20	0	7	50	1	7	0	0	12	0	0	0	0	0
4	元総社蒼海遺跡群④	3	16	74	2	8	63	7	8	0	0	8	1	0	1	0	0
5	元総社蒼海遺跡群⑤	5	18	23	3	3	51	1	13	0	0	5	5	0	1	0	0
6	元総社蒼海遺跡群⑥	13	3	33	4	4	40	7	7	0	0	11	1	0	0	2	0
7	元総社蒼海遺跡群⑦	0	4	3	0	2	20	9	9	1	0	0	0	0	0	0	0
8	元総社蒼海遺跡群⑧	20	1	50	19	5	52	25	14	33	0	5	0	0	1	0	0
9	元総社蒼海遺跡群⑨	21	4	27	19	2	69	0	162	1	0	1	0	0	0	0	0
10	元総社蒼海遺跡群⑩	15	5	36	10	1	34	5	55	0	0	2	0	0	0	0	0
11	元総社蒼海遺跡群⑪	27	3	43	3	4	23	0	13	0	0	2	0	0	0	0	0
12	元総社蒼海遺跡群⑫	12	2	28	2	4	31	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0
13	元総社蒼海遺跡群⑬	4	1	8	19	4	111	2	17	2	0	7	1	0	0	0	0
14	元総社蒼海遺跡群⑭	40	10	50	13	2	109	8	26	0	0	10	3	0	0	8	0
15	元総社蒼海遺跡群⑮	4	2	8	21	4	46	4	12	9	0	4	0	0	0	0	0
16	元総社蒼海遺跡群(1)	1	27	60	1	1	45	0	38	0	0	7	1	0	0	0	0
17	元総社蒼海遺跡群(2)	2	7	17	7	12	47	10	13	0	1	3	1	0	0	0	0
18	元総社蒼海遺跡群(3)	1	9	15	0	13	56	0	21	1	0	2	0	0	0	0	0
19	元総社蒼海遺跡群(4)	1	13	50	0	1	17	1	34	0	0	5	1	0	0	0	0
20	元総社蒼海遺跡群(5)	0	5	43	0	0	15	45	4	230	0	1	0	0	0	0	0
21	元総社蒼海遺跡群(6)	0	2	0	4	4	31	16	109	2	0	2	0	0	0	0	0
22	元総社蒼海遺跡群(7)	0	2	6	0	2	11	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0
23	元総社蒼海遺跡群(8)	0	18	25	1	6	52	0	19	0	0	4	25	0	0	0	0
24	元総社蒼海遺跡群(9)・(10)	0	9	58	2	24	110	0	10	0	3	9	0	0	0	0	0
25	元総社蒼海遺跡群(11)	4	8	19	1	8	55	0	14	0	0	4	0	0	0	0	0
26	元総社蒼海遺跡群(12)	7	42	81	0	5	71	0	25	0	0	1	1	0	2	0	0
27	元総社蒼海遺跡群(13)	3	12	104	4	25	42	0	30	0	1	7	9	1	0	0	0
28	元総社蒼海遺跡群(14)	0	10	27	2	1	32	3	4	3	1	3	3	0	0	0	0
29	元総社蒼海遺跡群(15)	2	0	0	0	12	42	0	21	0	0	6	0	0	0	0	0
30	元総社蒼海遺跡群(16)	0	3	8	5	24	53	0	20	0	0	2	0	0	0	0	0
31	元総社蒼海遺跡群(17)	3	21	39	1	10	41	2	7	6	0	1	0	0	0	0	0
32	元総社蒼海遺跡群(18)	2	4	11	12	17	51	0	42	1	0	6	0	0	2	0	0
33	元総社蒼海遺跡群(19)	0	10	15	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	元総社蒼海遺跡群(20)	24	29	86	12	11	85	1	73	3	2	10	2	0	0	0	0
35	元総社蒼海遺跡群(21)	0	0	0	1	1	21	40	1	0	0	3	0	0	3	4	0
36	元総社蒼海遺跡群(22)	10	17	67	7	12	154	0	15	3	0	11	3	0	0	0	0
37	元総社蒼海遺跡群(23)	0	8	27	0	7	56	78	19	3	0	2	0	0	17	20	0
38	元総社蒼海遺跡群(24)	0	9	36	3	11	67	0	33	2	0	11	0	0	1	0	0
39	元総社蒼海遺跡群(25)	0	1	0	0	9	10	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0
40	元総社蒼海遺跡群(26)	17	35	73	6	16	144	1	47	6	0	4	1	0	0	0	0
41	元総社蒼海遺跡群(27)	2	30	58	17	27	99	0	27	1	2	26	2	0	0	0	1
42	元総社蒼海遺跡群(28)	22	52	61	2	27	81	0	41	1	3	13	3	0	0	0	0
43	元総社蒼海遺跡群(29)	1	9	18	0	11	43	3	3	86	0	7	0	0	0	0	0

III 国庁推定案について

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
鉄 釉	陶 磁 器 類	土 製 品	石 製 品	金 属 製 品	木 製 品	装 身 具	自 然 遺 物	そ の 他	縄 文			弥 生 土 器	腰 帶	硯	盤	螺旋状暗紋杯	人 形	国 府 関 連 墨 書	備 考	合計
									土 器	石 器	そ の 他									
0	2	1	15	3	25	1	0	0	9	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	133
0	0	2	7	28	0	2	0	0	6	7	1	0	0	1	0	0	0	1	0	158
0	0	0	3	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115
0	0	5	6	30	0	2	0	1	1	1	0	12	1	0	0	2	0	3	0	255
0	0	0	1	16	0	1	0	0	9	2	1	0	0	0	1	0	0	3	0	162
0	19	0	10	12	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	173
0	0	0	3	7	0	0	0	0	1	5	0	1	0	0	0	6	0	0	0	71
0	0	0	2	9	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	242
0	0	2	0	7	0	0	0	0	26	11	0	0	0	0	1	1	0	0	0	354
0	0	0	3	9	0	2	0	0	38	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	227
0	0	0	3	6	0	0	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	135
0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	110
0	0	0	6	14	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	203
0	0	0	1	7	0	0	0	2	20	3	0	0	1	1	0	2	0	2	0	318
0	8	0	7	0	0	0	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140
0	0	0	2	12	0	3	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	203
0	0	1	0	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130
0	0	1	8	9	0	0	0	0	111	14	5	0	0	1	0	0	0	3	0	270
0	0	6	4	9	0	5	0	0	24	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	178
0	0	0	1	16	0	4	0	21	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	386
0	0	0	4	16	0	1	1	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	210
0	0	0	1	11	0	0	0	2	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	45
0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153
0	0	4	21	19	0	3	0	5	118	71	4	1	0	0	0	0	0	0	0	471
0	0	1	7	4	0	7	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150
0	0	0	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	255
0	0	3	6	17	0	4	0	1	79	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	354
0	8	0	10	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	115
0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89
0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120
0	1	0	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	145
0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	154
0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	66
0	6	1	40	27	0	1	0	0	22	0	0	0	1	0	0	3	0	1	0	440
0	8	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92
0	0	0	7	3	0	5	0	0	0	0	0	13	0	0	0	1	0	3	0	331
0	19	1	0	2	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	288
1	1	4	18	19	0	0	0	0	20	20	0	0	0	0	1	0	0	0	0	257
0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
0	3	0	35	23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	0	4	0	424
0	10	4	21	13	0	2	0	0	7	11	0	6	0	0	0	0	0	0	0	366
0	7	3	7	13	0	1	0	0	7	12	0	8	0	0	1	0	0	0	0	365
0	3	0	31	10	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	227

第2章 上野国府に関連する既出資料の集成について

No.	遺跡名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		土師器			須恵器			かわらけ	瓦	古 銭	埴 輪	陶 器			磁 器		
		大	中	小	大	中	小					灰 釉	緑 釉	三 彩	青	白	青 花
44	元総社蒼海遺跡群(30)	0	3	1	1	0	11	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0
45	元総社蒼海遺跡群(31)	6	4	28	2	2	3	2	0	14	2	0	0	0	0	0	0
46	元総社蒼海遺跡群(32)	4	7	103	1	11	52	1	34	0	0	5	1	0	0	1	0
47	元総社蒼海遺跡群(33)	3	18	24	0	16	39	34	31	1	0	1	0	0	0	2	0
48	元総社蒼海遺跡群(34)	0	0	6	1	3	41	20	22	14	0	2	0	0	0	0	0
49	元総社蒼海遺跡群(35)	0	18	76	0	0	22	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0
50	元総社蒼海遺跡群(36)	0	1	7	6	0	44	6	10	1	3	1	0	0	0	0	0
	合 計	283	527	1,709	215	385	2,518	344	1,130	434	19	246	65	1	30	37	1

Tab. 8 元総社明神遺跡遺物集計表

No.	遺跡名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		土師器			須恵器			かわらけ	瓦	古 銭	埴 輪	陶 器			磁 器		
		大	中	小	大	中	小					灰 釉	緑 釉	三 彩	青	白	青 花
1	元総社明神遺跡Ⅰ	4	7	6	3		5										
2	元総社明神遺跡Ⅱ	1	209	405	13	205	330	3	7		2	51					
3	元総社明神遺跡Ⅲ・Ⅳ		8	31	2	4	49	2				2					
4	元総社明神遺跡Ⅴ		7	45		7	63		1	5							
5	元総社明神遺跡Ⅵ		7	45		7	63		1	5							
6	元総社明神遺跡Ⅶ		7	45		7	63		1	5							
7	元総社明神遺跡Ⅷ		5	81		1	32		19			3			5	30	
8	元総社明神遺跡Ⅸ		7	45		7	63		1	5							
9	元総社明神遺跡Ⅹ		2	12			4	11	51	4							
10	元総社明神遺跡Ⅺ		7	45		7	63		1	5							
11	元総社明神遺跡Ⅻ		1	9		8	10	8	1	1			1				
12	元総社明神遺跡Ⅼ		7	45		7	63		1	5							
	合 計	5	274	814	18	260	808	24	84	35	2	56	1	0	5	30	0

III 国庁推定案について

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
鉄 釉	陶 磁 器 類	土 製 品	石 製 品	金 属 製 品	木 製 品	装 身 具	自 然 遺 物	そ の 他	縄 文			弥 生 土 器	腰 帶	硯	盤	螺旋 状暗 紋坏	人 形	国 府 関 連 墨 書	備 考	合 計
									土 器	石 器	そ の 他									
0	0	1	6	1	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
0	20	2	23	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	112
0	0	3	7	10	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	248
3	8	3	45	5	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	240
0	10	1	7	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	133
0	0	0	5	3	0	1	0	0	2	6	0	0	0	0	2	1	0	0	0	143
0	6	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99
4	172	56	420	446	26	57	1	61	553	209	34	48	12	12	11	29	0	22	0	10,117

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
鉄 釉	陶 磁 器 類	土 製 品	石 製 品	金 属 製 品	木 製 品	装 身 具	自 然 遺 物	そ の 他	縄 文			弥 生 土 器	腰 帶	硯	盤	螺旋 状暗 紋坏	人 形	国 府 関 連 墨 書	備 考	合 計
									土 器	石 器	そ の 他									
		1																		26
									18	1	2				1					1,248
					39									1						138
	15	8	9			4		3												167
	15	8	9			4		3												167
	15	8	9			4		3												167
	1	7	14		128	14	116	1	14	14		31					3	2		521
	15	8	9			4		3												167
	3	3	18	2				1		1					3				9	124
	15	8	9			4		3												167
			6	1											1					47
	15	8	9			4		3												167
0	94	59	92	3	167	38	116	20	32	16	2	31	0	1	5	0	3	2	9	3,106

Tab. 9 国府関連資料集成表

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
		2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	2002.3	1984.3	1988	2003.11	1990.3	1987.3	1987.3	
		国府南部遺跡群Ⅰ・Ⅱ	国府南部遺跡群Ⅲ	国府南部遺跡群Ⅳ	国府南部遺跡群Ⅴ	上野国分尼寺北辺遺跡	中尾遺跡	史跡上野国分寺跡	元総社西川・塚田中原遺跡	国分境遺跡	下東西遺跡	天神遺跡(破片数)	
1	硯								5		5		10
2	転用硯		1						1				2
3	螺旋状暗紋土器										8		8
4	銅椀							1	3				4
5	金銅像	1											1
6	緑釉陶器			1	2		10		16	4	6	120	159
7	青磁			4	5		1		2			12	24
8	白磁					1		1	14			6	22
9	巡方						4		1		2		7
10	丸柄						1			1			2
11	瓦塔	2								1			3
12	国府関連墨書・刻書												0
	合計	3	1	5	7	1	16	2	42	6	21	138	242